

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0114

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

事業名	交通安全対策推進経費			担当部局庁	政策統括官(政策調整担当)	作成責任者	
事業開始年度	昭和45年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	交通安全対策担当	参事官 児玉 克敏	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	交通安全対策基本法(昭和45年6月1日 法律第110号)			関係する計画、通知等	交通安全基本計画		
政策	10. 共生社会政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	12. 交通安全基本計画の作成・推進						
政策体系・評価書URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/hvouka/r3hvouka/r3jigo/r3jigo-3.pdf">https://www8.cao.go.jp/hvouka/r3hvouka/r3jigo/r3jigo-3.pdf</a>						
事業の目的(5行程度以内)	交通安全対策基本法に基づき交通安全基本計画の作成及びその推進を図るとともに、交通社会に参加する国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、安全な交通社会を形成すること。						
現状・課題(5行程度以内)	交通事故発生件数及び負傷者数は、令和4年まで18年連続で減少したほか、令和4年の24時間死者数も現行の交通事故統計となった昭和23年以降で最少(2,610人)となっており、第11次交通安全基本計画の諸施策に一定の事故抑止効果は認められる一方で、令和4年中の全交通事故死者数に占める65歳以上の高齢者の割合は56.4%と依然として高水準であるほか、交通事故死者数を状態別にみると、歩行者の割合が36.6%と最も多くなっている。こうした状況を踏まえ、高齢者、子供等をはじめとする交通弱者の安全の確保等「人優先」の交通安全思想を基本とし、各種の交通安全対策を関係機関、地方公共団体及び関係民間団体と緊密に連携し、交通安全基本計画全体をフォローしながら強力に推進していく必要がある。 (データの出典:警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」)						
事業概要(5行程度以内)	交通安全に関する施策の大綱となる交通安全基本計画の作成のほか、国をはじめ社会全体として取り組むべき重要施策等の推進を図るため、交通安全対策に関わる施策についての調査研究等を実施する。 ・地域の交通安全活動に積極的に取り組んでいる交通ボランティア等の育成を図るため、交通安全指導等に必要な知識や技術等を学ぶ機会を提供する。 ・春・秋の全国交通安全運動、交通安全フォーラム、交通安全功労者表彰の実施により、国民の交通安全意識の高揚を図る。						
事業概要URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/koutu/index.html">https://www8.cao.go.jp/koutu/index.html</a>						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	83	78	76	79	92
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	83	78	76	79	92
		執行額(G)	51	60	62	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	61%	77%	82%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	61%	77%	82%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	共生社会政策費			重要政策推進枠:21			
(目)	諸謝金	56	69				
(目)	庁費	19	19				
(目)	職員旅費	3	3				
(目)	委員等旅費	1	1				
	その他						
	計(A)	79	92				

令和5・6年度  
予算内訳  
(単位:百万円)

<b>活動内容① (アクティビティ)</b>		交通安全基本計画及び社会情勢の変化に沿った交通安全対策に関する調査研究を行う。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		調査研究の実施	調査研究の実施回数	活動実績	回数	2	2	1	-	-
				当初見込み	回数	2	2	1	2	2
↓										
<b>成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		有効かつ適切な交通安全対策を推進するための基礎となる調査研究を行う。この結果を活用し、効率的な交通安全対策を実施することで、交通安全に対する国民の意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74.2	70.2		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6		-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓										
<b>成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容② (アクティビティ)</b>		交通指導員を始めとした交通ボランティア等の活動・取組を支援するための講習会を実施する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績② (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		講習会の実施	講習会の実施回数	活動実績	回数	1	8	8	-	-
				当初見込み	回数	8	8	8	8	8
↓										
<b>成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		講習会に参加した交通ボランティア等の交通安全に対する知見が深まり、意識や資質が向上し、交通安全の活動・取組が活発化することで、それらの活動・取組に触れた国民の交通安全に対する意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74.2	70.2		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6		-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓										
<b>成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容③ (アクティビティ)</b>		全国交通安全運動の機会を通じて、国民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、実施ごとに推進要綱を決定・発出するとともに、ポスター・チラシの作成、都道府県・関係団体等への配布やSNS、動画を用いた周知活動を実施する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		全国交通安全運動の実施	全国交通安全運動の実施回数	活動実績	回数	2	2	2	-	-
				当初見込み	回数	2	2	2	2	2
↓										
<b>成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		推進要綱に基づき、主催である関係省庁、地方公共団体及び関係機関・団体、協賛である約150の民間団体、また、多くの市民や交通ボランティア等が参加する官民一体となった全国的な国民運動を実施することで、これらの運動に参加したり、触れたりした国民の交通安全に対する意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74.2	70.2		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6		-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓										
<b>成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容④ (アクティビティ)</b>		高齢運転者への指導力を向上させるため、交通安全指導員向けの講習会を開催する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		講習会の実施	講習会の実施回数	活動実績	回数	2	4	2	-	-
				当初見込み	回数	4	4	4	4	4
↓										
<b>成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		講習会により、交通安全指導員の指導力が向上し、指導員の指導を受けた国民の交通安全に対する意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74.2	70.2		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6		-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓										
<b>成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容⑤ (アクティビティ)</b>		地方公共団体の提案を受け、当該地域に必要な交通安全に資する事業を実施する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		事業の実施	事業の実施回数	活動実績	回数	-	3	2	-	-
				当初見込み	回数	2	3	2	2	2
↓										
<b>成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		地域の実情や特性による必要な事業を実施することで、当該事業に参加した国民の交通安全に対する意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74.2	70.2		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6		-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓										
<b>成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b>		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

<b>アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載</b>		チェック	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>事業に関連する KPIが定められて いる関連決定 等</b>	名称	第11次交通安全基本計画	
	URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/koutu/kihon/keikaku11/pdf/kihon_keikaku.pdf">https://www8.cao.go.jp/koutu/kihon/keikaku11/pdf/kihon_keikaku.pdf</a>	
	該当箇所	p.12	

事業所管部局による点検・改善												
点検結果	<p>○短期アウトカムについて 国民に対する「人優先」の交通安全思想の浸透を着実に促進したものの、令和3年度において、目標値を達成することができなかった。20代から70代では年代が上がるにつれ割合は高くなり、60代で80.0%、70代で87.0%、80代で78.9%となっているものの、40代以下では70%以下となっており、相対的に若い年代の交通安全に関する意識が低い傾向にある。</p> <p>○長期アウトカムについて 24時間死者数は減少傾向にあり、第11次交通安全基本計画における令和7年までの目標値達成には、24時間死者数について各年約6.8%ずつの減少を要するところ、同基準により設定した令和4年の目標値(2,468人以下)は達成できなかった。</p>										目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)	
	-											
改善の方向性	<p>短期アウトカムの改善のために、普及啓発活動を実施するに当たり、比較的若い年代にも目に留まりやすいソーシャルメディア等の活用や若者が参加しやすい実践例を調査研究するなど、時代に即した広報啓発・取組のあり方について検討・見直しを図るとともに、講習会等においては、開催場所、テーマの設定方法など、地域の実情に応じた多角的検討を図るなど、交通安全思想の更なる普及徹底に資する交通安全活動を検討し、強力で推進していく。</p> <p>長期アウトカムの改善のために、短期アウトカムの改善とともに、高齢者、子供等をはじめとする交通弱者の安全の確保等「人優先」の交通安全思想を基本とし、各種の交通安全対策を関係機関、地方公共団体及び関係民間団体と緊密に連携し、交通安全基本計画全体をフォローしながら強力で推進していく。</p>											
外部有識者の所見												
点検対象外												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見												
現状通り	一者応礼の解消に向けた取り組みを行い、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
現状通り	一者応礼の解消に向けた取り組みを行い、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めてまいりたい。											
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ											
	-											
	上記への対応状況											
	-											
	その他の指摘事項											
	<p>・内閣府本府政策評価有識者懇談会第43回(令和4年6月)において、「広報・啓発について、データにより事故の起こりやすい年代、場所などを把握し、ピンポイントにアプローチする方法を考えるべき」とのコメントを受けている。</p>											
上記への対応状況												
<p>・内閣府本府政策評価有識者懇談会第43回(令和4年6月)のコメントを受け、交通安全に関する意識が相対的に低い傾向にある若い年代向けに、SNSによる全国交通安全運動の周知等、SNSを活用した広報活動を実施している。</p>												
備考												
<a href="https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/index-c.html">https://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/index-c.html</a>												
関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成23年度	0131											
平成24年度	0127											
平成25年度	0088											
平成26年度	0084											
平成27年度	0089											
平成28年度	0080											
平成29年度	0085											
平成30年度	0093											
令和元年度	内閣府	-			0103							
令和2年度	内閣府				0104							
令和3年度	2021	府	20		0117							
令和4年度	2022	府	21		0114							

内閣府政策統括官  
(政策調整担当)  
62百万円

交通安全対策の企画、調査研究、人材育成の実施等



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	人件費	研究員等	16	直接経費	旅費・謝金	5	
	事業費	謝金、一般管理費等	5	事業費	講習会等の実施費用	4	
				人件費等	講習会等の運営管理	3	
	計		21	計		12	
	C.			D.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	事業費	事業の実施費用	3	印刷製本費	全国交通安全運動等のポスター・チラシ印刷	5	
	人件費	事業の運営管理	3	人件費	全国交通安全運動に係る動画制作	1	
直接経費	旅費	1					
計		7	計		6		
E.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
人件費	事業の運営管理	2	印刷製本費	交通安全白書の印刷製本	5		
事業費	事業の実施費用	1					
計		3	計		5		
G.			H.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
人件費	ポスター・チラシのデザイン	2					
計		2	計				
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社	7010001012532	令和4年度交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査	22	一般競争契約(総合評価)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	株式会社エイチ・アイ・エス	6011101002696	令和4年度交通ボランティア等ブロック講習会運営支援業務	10	一般競争契約(最低価格)	7	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
2	株式会社エイチ・アイ・エス	6011101002696	令和4年度交通安全指導者養成講座運営支援業務	2	一般競争契約(最低価格)	4	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	一般財団法人日本交通安全教育普及協会	7010405010405	令和4年度地域提案型交通安全支援事業運営支援業務	5	一般競争契約(最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
2	一般財団法人日本交通安全教育普及協会	7010405010405	交通安全教育教材(自転車編)作成業務	1	随意契約(少額)	-	-	
3	一般財団法人日本交通安全教育普及協会	7010405010405	自転車シミュレータ等を活用した広報啓発	0.2	随意契約(少額)	-	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	シンソー印刷株式会社	2011101036302	令和5年春の全国交通安全運動等チラシの印刷業務	1	随意契約(少額)	-	-	
2	シンソー印刷株式会社	2011101036302	令和4年秋の全国交通安全運動等チラシの印刷業務	1	随意契約(少額)	-	-	
3	シンソー印刷株式会社	2011101036302	令和5年春の全国交通安全運動ポスターの印刷業務	1	随意契約(少額)	-	-	
4	シンソー印刷株式会社	2011101036302	令和4年秋の全国交通安全運動ポスターの印刷業務	1	随意契約(少額)	-	-	
5	シンソー印刷株式会社	2011101036302	令和5年春の全国交通安全運動に係る動画制作業務	1	随意契約(少額)	-	-	

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	日本PMIコンサルティング株式会社	3010001088337	令和4年度高齢運転者交通安全推進事業運営支援業務	3	一般競争契約(最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一省心札・一省心券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	勝美印刷株式会社	9010001001855	令和4年版交通安全白書の印刷・製本等	5	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一省心札・一省心券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エフシージー総合研究所	6010001012467	令和4年秋の全国交通安全運動ポスター・チラシのデザイン作成	0.9	随意契約(企画競争)	9	-	
2	株式会社エフシージー総合研究所	6010001012467	令和5年春の全国交通安全運動ポスター・チラシのデザイン作成	0.9	随意契約(企画競争)	6	-	
3	朝日梱包株式会社	9010601040880	令和4年秋の全国交通安全運動ポスター・チラシの梱包・発送	0.7	随意契約(少額)	-	-	
4	朝日梱包株式会社	9010601040880	令和5年春の全国交通安全運動ポスター・チラシの梱包・発送	0.7	随意契約(少額)	-	-	
5	朝日梱包株式会社	9010601040880	令和4年度交通安全功労者表彰状等の梱包発送	0.1	随意契約(少額)	-	-	
6	朝日梱包株式会社	9010601040880	「令和4年版交通安全白書」の梱包発送	0	随意契約(少額)	-	-	
7	朝日梱包株式会社	9010601040880	令和4年安全功労者内閣総理大臣表彰の表彰状等の梱包発送	0	随意契約(少額)	-	-	
8	株式会社ダイナモ	6010701017253	令和4年秋の全国交通安全運動に係るSNSによる広報業務実施	1	随意契約(少額)	-	-	
9	株式会社天賞堂	9010001050794	令和4年度交通安全功労者表彰に係る記念品(銀杯及び楯)	0.8	随意契約(少額)	-	-	
10	公益財団法人交通事故総合分析センター	2010005018547	令和4年度OECD加盟国の交通事故データ集計加工業務等	0.6	随意契約(少額)	-	-	
11	クスノセ・アンド・カンパニー株式会社	2490001006664	令和4年度交通安全フォーラム運営業務	0.3	随意契約(少額)	-	-	
12	公益財団法人全国市長会館	7010005018609	令和4年度交通安全功労者表彰に係る経費(会場等借料)	0.2	随意契約(少額)	-	-	
13	株式会社バイリンガル・グループ	2010001026479	交通安全教育教材(自転車編)の英訳業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	
14	株式会社バイリンガル・グループ	2010001026479	令和4年版交通安全白書の概要版英訳業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	
15	株式会社ソノベ	7370001008866	令和4年度交通安全フォーラムのチラシのデザイン作成	0.2	随意契約(少額)	-	-	
16	株式会社佐伯コミュニケーションズ	4320001001168	平成24年版交通安全白書の電子データの変更作業の実施	0.2	随意契約(少額)	-	-	

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一省心札・一省心券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
2	職員B	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
3	有識者等A	-	諸謝金・委員等旅費	0.1	その他	-	-	
4	有識者等B	-	委員等旅費	0.1	その他	-	-	
5	職員C	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
6	有識者等C	-	諸謝金・委員等旅費	0	その他	-	-	
7	有識者等D	-	諸謝金	0	その他	-	-	
8	有識者等E	-	委員等旅費	0	その他	-	-	
9	有識者等F	-	諸謝金・委員等旅費	0	その他	-	-	
10	有識者等G	-	諸謝金・委員等旅費	0	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

<b>活動内容⑥ (アクティビティ)</b>		交通安全フォーラムを開催し、学識経験者等の専門家による基調講演、パネルディスカッションを実施する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ⑥ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		交通安全フォーラムの開催	交通安全フォーラムの開催回数	活動実績	回数	1	1	1	-	-
				当初見込み	回数	1	1	1	1	1
↓		学識経験者等の専門家による基調講演、パネルディスカッションを実施することで、これらを視聴した国民の交通安全に対する意識向上に繋がるため。								
<b>成果目標及び成果実績 ⑥-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合	成果実績	%	74	70		-	
				目標値	%	90	85	85	85	
				達成度	%	82.4	82.6	0	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		内閣府政策統括官「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」								
↓		交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こることで、道路交通事故の発生が抑止され、交通事故による死者数が減少するため。								
<b>成果目標及び成果実績 ⑥-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		世界一安全な道路の実現を目指し、道路交通事故による24時間死者数を減少させる。究極的には、道路交通事故のない社会を目指す。	暦年ごとの24時間死者数	成果実績	人	2,839	2,636	2,610	-	
				目標値	人	-	-	-	2,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由								